学校だより２月号

寺尾小だより

＜学校教育目標＞「自ら進んで　学ぶ子　仲よくする子　きたえる子」
＜２月の生活目標＞「手洗いうがいをしっかりしよう」
川越市寺尾９７９－２　TEL 049-245-9555　FAX 049-240-1765
川越市立寺尾小学校
令和５年１月３１日（火）

次の学年への準備～桜の花芽から～

校長　　長　澤　　誠

新型コロナウイルスが猛威をふるっています。本校でも、１２月に続き先週も学級閉鎖の措置をとりました。また、楽しみにしていた「なかよしカーニバル」も延期措置をとりました。繰り返しになりますが、①誰もが罹患する可能性があること　②罹患した場合には、重症化を防ぐよう静養に努め、回復に万全を期すこと　③同居家族に体調不良者がいる場合は、無理せずに登校を見合わせること　について、感染拡大防止の観点からご協力をお願いいたします。

さて、私は毎朝、正門前の横断歩道で子供達の登校の様子を見守った後、敷地内の安全点検をしながら、運動場で元気に遊んでいる子達に声をかけたり、委員会活動をしている高学年の子達をねぎらったりすることを日課としています。ある日１年生の男子が「校長先生！桜の木につぼみがあるよ。」と教えてくれました。鉄棒のそばの桜の木を一緒に見てみると、その木には、「花芽」がついていました。暦の上では「大寒」から「立春」にかけ、最も寒い時期です。しかし、４月の「満開の桜」へ向けての準備が始まっていることを実感しました。男の子に感謝をしながら、少し調べてみました。

桜は、花が散ってから少し経つと、次の年に花を咲かせる準備を始めるそうです。水泳学習をしている７月頃には「花芽」ができています。しかし、すぐには花を咲かせません。寒い冬に花が咲かないように暑い夏から秋にかけて長い休みの期間に入ります。そして、冬の寒い空気にさらされると、少しずつ眠りから目覚め「花芽」が大きくなっていき、３月下旬ごろから開花が始まります。つまり、**桜が目覚めるスイッチは、この寒さ**ということです。そう言えば、我が家の露地栽培しているイチゴも、冬を越した株でないと花を咲かせません。桜と同じことが言えるのですね。

このことを学校での生活に置き換えてみます。この３学期は、次の学年への向けての準備の期間です。次の学年になるための行事や活動が多く予定されています。１年生は、入学を迎える新１年生のための教室飾りを準備します。２年生は、生活科で自分の成長を確かめます。この他にも、クラブ見学、新通学班編成、なかよしカーニバル、６年生を送る会などです。６年生は、“恩返し活動”や中学校の体験、そして卒業式・・・。**寒い時期にこそ、準備のスイッチをＯＮにして、４月には満開の桜のように素晴らしい１年間のスタートができるようにしておくことが大切だと感じました。**

まだまだ、寒さが続きます。インフルエンザや胃腸炎も懸念されています。手洗い・うがい・咳エチケット、食事・休養・睡眠等、予防や感染防止に引き続いてご協力をお願いいたします。